

感染リスクが高まる「5つの場面」

年末年始は飲食や会食の機会が増えることに加え、多くの人が連続した休暇を取ることが予想されます。

感染症の伝播は主にクラスターを介して拡大することから、
クラスターの連鎖を抑えることが必須です。
特に次の「5つの場面」に注意しましょう。

健保だより

令和2年12月14日号

※ダイワボウ労働組合「組合新聞」第1052号
(令和2年12月10日発行)に掲載の
「健保とあなた」と同じ内容です

場面① 飲食を伴う懇親会等



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食



場面③ マスクなしでの会話



場面④ 狭い空間での共同生活



場面⑤ 居場所の切り替わり



《 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫 》

- 飲酒をするのであれば、少人数・短時間で、なるべく普段一緒にいる人で行い、深酒・はしご酒などは控える。
- 箸やコップは使いまわさず、一人ひとりで使用する。
- 座の配置は斜め向かいにし、正面や真横はなるべく避ける。
- 会話するときはなるべくマスクを着用する。
- 換気が適切にされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店を選ぶ。
- 体調が悪い場合は、参加しない。

